

令和8年度 第1回下松市上下水道事業審議会

○日 時 令和8年4月28日（火曜日） 午前10時～午前11時00分

○場 所 下松市上下水道局3階会議室

○ 議事

（1） 会議の成立について

→9人中7人出席により成立

（2） 令和8年度予算について

事務局より概要の説明

委 員 大谷川雨水ポンプ場整備事業について、総事業費34億円については、当初に比べて増額となっているのか。また、事業の進捗状況についてはどうか。

事務局 当初の予定どおりの金額である。事業の進捗については、土木工事、機械電気工事といずれも業者も決まり進めているが、関係機関との調整に時間を要しており、計画より1年遅れる見込みである。

委 員 豊井地区の整備事業が進められており、地区においては、下水道管路について鉄道の下を進めていく箇所が何箇所かあるが、JRとの協議に時間を要するのではないか。

事務局 関係機関との協議に時間を要することも多い。大谷川排水区においては、低地ということもあり、これまでも浸水などが発生している地区である。現在、ポンプ場や管渠の整備を進めているところであり、整備が完了すれば、浸水のリスクはかなり軽減される。

（3） 下松市水道事業経営戦略の改定について

事務局より概要の説明

委 員 審議会において今後審議を進めていくことになると思うが、最終的な結論を出すのはいつ頃を想定しているのか。

事務局 具体的な改定期間などについては、審議会において協議しながら決めていくことになる。今後、複数回の審議会開催を予定している。

委 員 現在国際情勢の動向も不透明であり、今後、事業費用の増加も考えられる。そのためできるだけ早く対応すべきではないか。

事務局 改定時期、改定内容については、審議会にも案をお示しし、議論していただきたいと考えている。事務局としてもスピード感をもって進めていきたいが、議会へ上程し議決もいただく必要もあるため、スケジュール等についても協議させていただきながら進めていきたい。

委員 ただいまの事務局からの説明や、委員の皆様のご意見を踏まえると、今後適正な料金のあり方について具体的な議論を進めていく必要があると思う。日々世界情勢も変化している状況であり、早急な対応が必要である。事務局においては、今後どのように進めていく予定なのか。

事務局 皆様のご意見も踏まえ、適正な料金のあり方について、審議会へ諮問を行いたいと考えている。後日、会長に対して諮問書を手交する形で行うこととしたい。諮問の後、次回以降の審議会において、具体的な資料等をお示しできればと思っている。